

ワンポイント講座

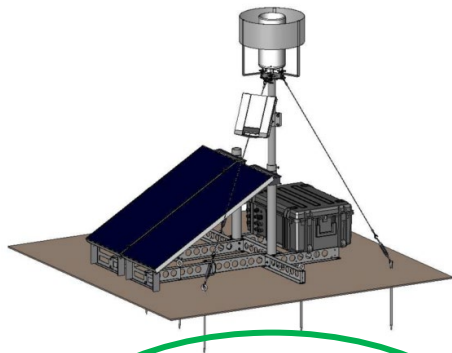
可搬型観測装置について

令和8(2026)年10月20日

福岡管区气象台 気象防災部 観測整備課

可搬型観測装置とは

- 災害時の迅速な気象観測網の復旧
- 地上回線不通時には可搬通信機器により通信確保
- 平時、分解収納し運搬・組立し設置



可搬型通信装置

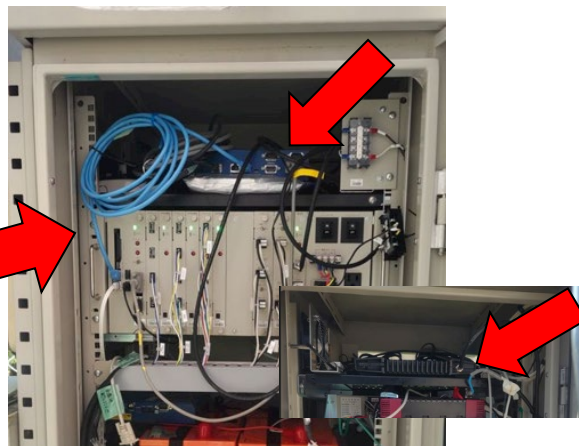


令和8年熊本地震で障害となったアメダス八代の復旧例

- 発災直後(7月28日16時27分頃)から通信途絶、観測データ未集信
- 観測所へ可搬型通信装置を設置(7月29日夕方に通信復旧)
- 観測データはホームページ等を通じ掲載提供
- 回線障害復旧により8月18日に可搬型通信装置撤収



アメダス八代外観



筐体内に可搬型通信装置
を設置したところ



可搬型通信装置(アンテナ)
を設置したところ

アメダス八代で使用した可搬型通信装置

- 衛星通信回線を利用し被災観測所との通信を可能に
- 既設通信機器と置き換え容易に衛星通信回線へ切替
- 職員で運搬・組立・設置が可能



可搬型通信装置

気象台では、
被災した観測所を各種の可搬型観測装置を使用して
確実な観測を継続していきます